

地域コミュニティの活性化に向けて
市民農園等で共同耕作の
仕組みを構築してはどうか

ニーズが高まった場合には
運営方法を検討していきたい

田村 智恵美 議員(ネット) 平成27年1月に策定、公表された第3次市農業振興計画の将来像には「農地・農業を通して地域コミュニティの活性化」とあるが、どのようなことを目指しているのか。

生活環境部長 市民が身近に農業収穫体験ができる機会を提供し、援農ボランティア制度などを促進することで、市民と農業の触れ合いを推進していくとともに、次世代を担う子どもたちが様々な体験を



▲市民農園にて

たいと考えている。

議員 地域コミュニティの活性化に向けては市民農園などの運営方法において、個人だけでなくNPOやサークル等の団体、福利厚生を目的とする企業等の需要を取り込むことで

浅田 多津子 議員(ネット) コミュニティバスの運行に関し、新たな市民ニーズ等の課題を聞きたい。

生活環境部長 運賃の改定やコミュニティバスの一般路線化、交通不便地域の解消などの課題があり、第3次コミュニティバス検討協議会で検討

一問一答

コミュニティバスの
運行ルートの在り方について
検討は行われているか

検討協議会において
発着ルート等の意見もあり
長期的な検討課題と考えている

が行われている。

議員 府中駅を中心とする運行ルートの在り方について検討が行われているか。

また、近隣市との共同運行の在り方や必要性等について検証を必要と考えるがどうか。

生活環境部長 同協議会では運行ルートについて、必ずしも府中駅の発着でなくても良いとの意見もあった。このような導入時の運行目的や基本方針から大幅に変更される意見については、長期的な検討課題になるものと考えている。

また、共同運行の可能性については近隣市と本市との運行目的や交通不便地域の考え方、運賃等に違いがあることなどから、現状では難しいものと考えている。

共同耕作ができる仕組みを構築してはどうか。

生活環境部長 共同耕作に対するニーズが高まった場合には、市民農園の利用状況を踏まえた上で運営方法を検討していきたい。

がん検診の
受診率向上のための取組は

複数のがん検診を
同じ会場で実施できるよう
検討していく

吉村 文明 議員（公明） 平成
26年度で市保健計画「健康ふ
ちゅう21」後期計画が終了す
るが、今後の取組について聞
きたい。

市長 策定した第2次健康ふ

【一問一答】

保育所設置に都有地等の活用を検討しているか

現状では難しいが用地確保に
あらゆる可能性を探りたい

赤野 秀二議員（共産） 市子ども・子育て支援計画で施策目標の一つとしている保育所の待機児童解消に向けて、教育・保育の提供体制整備を計画的に進めるとのことだが、具体的にどのような計画なのか聞きたい。

子ども家庭部長 都有地は状況を検討してきたと思うが、状況はどうか。

子ども家庭部長 都有地は待機児童の少ない地域に多いため、現状では活

子ども家庭部長 市民意向調査に基づき、保育が必要な方の見込み量を踏まえ、平成29年度までに7か所の教育・保育施設を整備する計画となっている。

議員 保育所の設置について、都有地などの未利用地の活用

ちゅう21に基づき、ライフステージに応じた定期的な健診機会の拡充を図るほか、地域のつながりを強化するなど、まちぐるみ・地域ぐるみの健康づくりを推進していきたいと考えている。

議員 市が実施するがん検診では、がんの種類にもよるがそれぞれが10%に満たない受診率であり、対策が必要だと思う。受診率向上のために市ではどのような取組を考えているか。

福祉保健部長 大腸がん、乳がん、肺がん検診などを受診しやすくするための工夫として、土曜日の実施を増やすほか、複数のがん検診を同じ会場で行えるよう検討していく。

また、受診者にモニターになつていただき、受診しやすい環境等について検討を進めていく。

歩道がない市道等における
幼児や高齢者の安全確保の取組は

看板設置や区画線のカラー舗装を実施している

遠田 宗雄 議員（公明） 市では、平成22年4月に自転車の安全利用に関する条例を施行

生活環境部長 環境整備につ

いては、警視庁が府中町1、2丁目の市道などに自転車の

市長 同条例は、自転車利用者の交通ルール遵守の徹底を図ることを目的としており、条例の施行により、人身事故総数のうち自転車が関与する割合が施行時の約50%から26年には約35%まで減少している。

議員 自転車が車道を安全に走るための環境整備は進んでいるか。

また、歩道が確保できない市道などにおける幼児や高齢者の安全確保の取組は。

・子育て支援計画に基づき、計画的に施設整備をしていく必要があることから、都有地、国有地等を問わず、用地確保のためにあらゆる可能性を探っていきたいと考えている

他地震災害を減らす取り組みのさらなる展開を求めて



福田 千夏 議員(公明) 子ど
ものインターネット依存対策
や情報マナーの取組など、情
報モラル教育についての取組
や課題を聞きたい。

教育長 本市では、セーフテ
ィ教室を初めとして、児童・
生徒の発達段階に応じた情報
モラル教育を実施している。

一括質問

情報モラル教育についての
課題を聞きたい

インターネットトラブルの
未然防止が難しいことなどがある

一方で、多くのインターネッ トトラブルは学校の管理外で発生することから、トラブルの未然防止が難しいことなどが課題であると考えている

議員 学校内にインターネッ ト依存に対する相談体制を確立すべきと考えるが、現状はどうか。

教育部長 相談に対しては、担当教諭や養護教諭、スクールカウンセラーなどが窓口となり、校長や副校長も含めて対応を検討する体制となっている。しかしながら、児童・生徒がインターネット依存であることを自覚することが難しいことなどから、児童・生徒や保護者に対し、繰り返し情報提供を行うことが必要と捉えている。



▲カラー舗装された区画線(白糸台3丁目付近)

左側通行を促すナビマークを整備している。

また、幼児や高齢者の安全確保については、看板設置や区画線のカラー舗装などを実施しており、今後も幼児や高齢者に特化した交通安全啓発を重点的に行いたいと考えている。